

第 1 回 総合計画策定審議会 議事要旨

会議名：第 1 回総合計画策定審議会

日時：2019 年 10 月 25 日（金）13:30～15:30

場所：吉野町中央公民館 2 階 第 3 研修室

参加者：出席者名簿の通り（欠席者：吉野中央森林組合坂本委員、吉野町スポーツ推進委員東平委員の計 2 名）

資料：・次第

- ・【資料 1】第 5 次吉野町総合計画策定審議会委員名簿
 - ・【資料 2】吉野町総合計画策定審議会条例
 - ・【資料 3】吉野町総合計画策定審議会傍聴要領
 - ・【資料 4】第 5 次吉野町総合計画策定方針
 - ・【資料 5】吉野町まちづくり基本条例
 - ・【資料 6】令和元年度吉野町住民意識調査結果（速報版）
 - ・【資料 7】令和元年度中学生アンケート調査結果（速報版）
 - ・【資料 8-1】令和元年度吉野町社会指標分析結果（速報版）
 - ・【資料 8-2】令和元年度吉野町社会指標分析データ
 - ・【資料 9】大字別懇話会結果
 - ・【資料 10】吉野町の未来を考える町民 café&talk 結果
 - ・【資料 11】吉野町の将来像聴取のためのポスター掲示結果（速報版）
 - ・【資料 12】町民参加の状況報告（広報よしの 11 月号 予定稿抜粋）
 - ・【参考資料 1】第 4 次吉野町総合計画 後期基本計画冊子
 - ・【参考資料 2】第 4 次吉野町総合計画 後期基本計画概要版パンフレット
-

【以下、協議内容】

1 開会

2 委嘱状交付

- 吉野町 北岡町長より委員への委嘱状の交付（会議の進行上、代表者 1 名に交付）を行った。

3 町長挨拶

- 吉野町 北岡町長より挨拶を行った。

【北岡町長】

吉野町にとって、第 5 次吉野町総合計画は重要な時期の計画であるため、委員のみなさまの知恵を発揮頂き、よりよい計画となるよう改めてよろしくお願いしたい。

吉野町には、第 1 次～第 4 次まで総合計画があり、第 1 次～第 3 次までの計画は、策定が義務付けられていた計画であったため、あまり活用されていなかった。また、第 4 次は策定義務が廃止された後であるが、町の運営していくため必要な計画であるため、職員が机に置いて日々活用できる計画を意識して策定した。

第 4 次の前期基本計画は畿央大学の三井田教授のお力を借りて策定し、後期基本計画は、まちづくり基本条例の策定にご尽力頂いた手塚山大学の中川教授のお力を借りて策定した。中川先生には、外部評価の委員にもご就任頂き進捗管理を行って頂いているところである。進捗に関しては十分ではない部分もあるため、本年度 7 月から 8 月に大字別懇話会を開催し、住民の悩みを具体的に聞き、どのように解決しながら、どのように夢のある計画を策定していくか検討しているところである。具体的に何をしていくかという計画を立て、実行していきたいと考えている。

今回の総合計画の策定にあたっては、奈良女子大学の中山教授のお力を借りるが、人口減少時代の自治体政策において住民協働自治体の展望、我々がみんなで作っていくという姿勢をご理解頂いているが改めてお願いしたい。

4 委員紹介

- 「資料 1」に基づいて委員紹介を行い、自己紹介など一言ずつご挨拶を頂いた。

5 会長、副会長選出

- 「資料 2 審議会条例」に基づいて、会長、副会長の選出を行った（委員からの発言により事務局案を提示し、会長に中山委員、副会長に山本（春）委員を選任することで承認を得た）。

6 総合計画の策定について（諮問）

- 「資料 2 吉野町総合計画策定審議会条例」に基づいて説明を行った。
- 北岡町長より中山会長へ諮問書の交付を行った。

7 会議の公開、会議録の公表について

- 「資料 3 吉野町総合計画策定審議会傍聴要領」に基づいて、説明を行った。

8 (1) 第5次吉野町総合計画の策定方針について

- 吉野町 総合政策課松田主任より「資料4 第5次吉野町総合計画の策定方針について」に基づいて説明を行った。

8 (2) 現状分析の実施内容と経過報告について

- トーマツ 堀井より「資料6 令和元年度吉野町住民意識調査結果(速報版)」
「資料7 令和元年度中学生アンケート調査結果(速報版)」に基づいて説明を行った。

【委員】

中学生アンケートの問5「あなたは今後も（大人になっても）吉野町で暮らしたいと思いますか」の結果、「3.暮らしたいと思わない」「4.わからない」で約65%と高い割合になっている状況について、今後、分析結果などをどのように活用していくか知りたい。

【事務局】

本日提示している資料は速報版であるため、次回の審議会で詳細な分析結果の提示を予定している。ただし、ご指摘のあった点については、問6-2「吉野町に暮らしたいと思わない理由」で確認しており、買い物や働く場所や交通インフラが理由として多い結果となっている。

【委員】

問6-2「吉野町に暮らしたいと思わない理由」の結果を見ると、「生活する環境が悪く住み心地が悪い」が8.6%、「学校などの学習する環境がよくない」が2.9%であり、小学校の教員がショックを受けていると考えられる。次回以降、アンケート結果を今後どのように活かしていくか提案をしてほしい。

【会長】

住民意識調査の問2の満足度の結果から、「サ：地域医療の充実」について40%程度（概ね2人に1人）は不満と回答しており、「へ：公共交通システム」について40%以上が不満と回答している。このように地域医療と公共交通の2つは、地域として大きな課題であると読み取れる。また、問3の重点的に取り組むべきことの結果を見ても「11：地域医療の充実」と「29：利便性の高い公共交通システムの構築」が課題であると読み取れる。

また、中学生アンケートの問5「あなたは今後も（大人になっても）吉野町で

暮らしたいと思いますか」の結果、「1.今後も（大人になっても）暮らし続けたい」が10.3%、「2.就学や就職で町外に出ると思うが、吉野町に戻って暮らしたい」が21.8%となっており、全体の2/3が町外に出る可能性がある。さらに、住民意識調査の問1（11）「吉野町にお住まいになった経緯」の結果、「1.生まれてずっと吉野町に住んでいる」が48.8%、「3.他の市町村から吉野町に引っ越してきた」が33.0%となっている。

つまり、今、吉野町で暮らしている大人より、中学生が大人になった時に吉野町に住んでいる可能性は低いため、今後も、みんな（特に、若い人）が吉野町に暮らし続けるための課題への対応が必要であると考えます。

- トーマツ 堀井より「資料 8-1 令和元年度吉野町社会指標分析結果（速報版）」「資料 8-2 令和元年度吉野町社会指標分析データ」に基づいて説明を行った。

【委員】

「資料 8-2 令和元年度吉野町社会指標分析データ」について、教育・文化の「11：小学校教員1人あたり小学校児童数」「12：公立小学校教員1人あたり公立小学校児童数」が他団体との比較で「▲」となっているが、実感としては嘱託職員やパート・アルバイトなどより多くの教員が1対1で障がい者学級や発達障がい児について指導している。現在の結果よりもっと低くてよいと考えている。そのため、提示頂いたデータは、正規職員の教員数ではないか確認したい。また、状況を正確に把握できるようより詳細なデータがあれば次回以降提示してほしい。

また、「83：耕作放棄地面積割合」は、割合で比較しているため、下市町の方が吉野町より耕作放棄地が少ないという理解でよい。さらに、「84：販売農家1家あたり農業粗生産額」は農業が収入につながっていないという理解でよい。農業が収入につながっていないと読み取れ、これは吉野町の農業問題に大きく関わることであるため詳細なデータがあれば提示してほしい。

【委員】

「資料 6 令和元年度吉野町住民意識調査結果（速報版）」では地域医療に対して不満を抱えている人が多かったと思うが、「資料 8-2 令和元年度吉野町社会指標分析データ」の健康の部分を見ると、病院数や病床数の数値がよいが、住民意識調査結果との違いをどのように捉えればよいか知りたい。

また、働く場所がないため町外でという中学生アンケート結果になっているが、吉野町の求人募集がどの程度あり、求人を出している事業所数や吉野町内

の事業所に占める求人募集の割合などの情報があると議論しやすいと思う。

【事務局】有効求人倍率は、市区町村別のデータがないため、ハロワーク単位でのデータで見ていくこととする。

- トーマツ 石堂より「資料 9 大字別懇話会結果」「資料 10 吉野町の未来を考える Café&Talk 結果」「資料 11 吉野町の将来像聴取のためのポスター掲示結果（速報版）」「資料 12 町民参加の状況報告（広報よしの 11 月号予定稿抜粋）」に基づいて説明を行った。

【会長】

居住環境の変化について、「河川の水質が悪化している」「水が汚い」などの意見が出ているが、吉野町の川は綺麗なイメージがあるが、何か原因があるのか知りたい。

【事務局】

本流ではなく、一部支流で水質の悪化が見受けられる地域があり、その地域の方からの意見である。また、原因は明確であるため、今後の対応策が求められていると考えている。

【会長】

アンケート結果では読み取れなかったが、「避難場所が近くにならない」「指定されている避難場所は入り口が土砂崩れすると避難できない」など防災面の意見も出ているが、町民目線からの不安は高いのか確認したい。

【事務局】

特に、大雨や台風などにより土砂災害危険地域に指定されている地域に避難所がある地域もあるため、その地域の方から意見があった。

【委員】

大字別懇話会と町民 Café&Talk に参加したが、このような会議で自分の意見を述べることは難しく勇気が必要であるため、雰囲気慣れるまでに時間がかかる。

また、町民 Café&Talk は、町外の方や若い方の参加が多く、雰囲気が明るく、活発な雰囲気でよかった。そのため、20～30 歳代の意見を集中的に反映するような機会があまりないため、今後、若い人の力をどう借りていくか、若い人が吉

野町に住み続けるためにどうするか検討していく必要がある。

桜満開ポスターの掲示については、吉野運動公園、木の子文庫、三奇楼に掲示しているということであるが、その場所に行く機会がない人が多いため、高齢者サロンやまちづくりをしている団体等に依頼し、よりたくさんの人の目に触れるところに配置することで、吉野町のまちづくりに参加しているという意識も出てくるのではないかと考える。

【会長】

若い方が住み続けること、町外から若い方が移住することなどは重要であるため、町内の若い方の意見を可能な限り取り入れる機会が設定できればよいと思う。

本日、お配りしている資料については、各団体で持ち帰って頂き、共有・議論頂き、次回以降に意見があれば持ってきて頂ければと思う。資料の見方などは事務局に適宜問い合わせください。

【事務局】

会議資料について、本日は当日配布としたが、会議当日の議事をスムーズに進めるため、次回以降は会議の1週間前までに送付を予定する。

8 (3) その他

- 吉野町 総合政策課吉村課長より事務局連絡を行った。

9 閉会

- 吉野町 総合政策課上林参事より閉会の挨拶を行った。

以上